

ORDERVANE

NinjaTrader 8 向けオーダーフロー・インジケーター

/

NT Pro — インストール・アクティベーション ガイド

ordervane.com

© 2026 OrderVane. All rights reserved.

目次

はじめる前に	4
ステップ 1 – パッケージをインポートする	4
ステップ 2 – 一度コンパイルする (F5)	5
ステップ 3 – ご自身のワークスペースを使う	5
ステップ 4 – OrderVane をチャートに追加する	5
ステップ 5 – ライセンスキーを入力する	5
ステップ 6 – 動作を確認する	6
フットプリント足の読み方	6
テープ上のマーカー	8
ボリューム・シェルフ	9
クイックメニュー (チャート上)	10
大口約定リストのウィンドウ	11
セッション水準	12
立会時間を設定する	12
Session Map ウィンドウ	13
計測レイヤー	14
最初の 30 分	15
次のステップ	16
無料体験	16
ライセンスとアクティベーション	16
新しいバージョンへの更新	17
アンインストール	17
トラブルシューティング	18
設定リファレンス	19
サポート	26

<!-- 2026-10-25 · NT Pro full customer guide (English = source · Korean = install-guide.nt-pro.ko.md, which still holds only the install part). Install / activation / update / uninstall facts = real NinjaTrader 8.1.8.4 run by the owner on 2026-10-25 (import fresh + over an existing install, F5, trial key, Remove NinjaScript Assembly order, re-import). Feature and reading sections added 2026-10-25 night: every sentence checked against OrderVane_NT8 @ v7.0.2168 code (nt/OrderVanePro.cs · nt/OrderVanePro.Settings.g.cs · smwin/*.cs · linked QT sources) and memory nt8-port.md / docs/port-pro-all.md. Structure follows OrderVane/docs/install-guide.pro.md. Left out on purpose: bid/ask walls and volume shelves (no on-screen NT check recorded), and settings that are visible in the NT settings window but not read by the NT code. Japanese translation of install-guide.nt-pro.md; terminology follows OrderVane/docs/install-guide.pro.ja.md. -->

OrderVane NT Pro は、OrderVane のフットプリント、大口約定マーカー、Session Map ウィンドウを NinjaTrader 8 で使えるようにします。各足の内側にはインバランス・POC・バリューエリア付きの売買ラダー、テーブル上には大口約定バブル・吸収バー・クラスター、そしてその周りには直前セッションの水準、足ごとの統計グリッド、ドラッグで描くレンジプロファイル、大口約定リスト、専用ウィンドウの Session Map が表示されます。

OrderVane は分析・可視化ツールです。注文を出すことはなく、売買シグナルも出しません。判断も執行も、すべてご自身のブローカーで行っていただきます。

設定名と NinjaTrader のメニュー名は意図的に英語のままです — NinjaTrader の画面が英語のため、訳すとかえって見つけられなくなります。

概要 — 数分。NinjaTrader で .zip をインポート (Tools -> Import -> NinjaScript Add-On) -> 一度コンパイル (NinjaScript Editor で F5) -> チャートに OrderVane Pro を追加 -> ライセンスキーを貼り付け。詳しい手順は以下のとおりです。

はじめる前に

以下が必要です。

- Windows 上の NinjaTrader 8。NinjaTrader 8.1.8.4 (Help -> About) を基準に開発・テストしています。ほかの 8.1 系バージョンでも動作する場合がありますが、テストはしていません。
- お客様の OrderVane NT Pro ライセンスキー — 購入 (または無料体験) の確認メールに記載されています。
- OrderVane NT Pro のダウンロードファイル — OrderVaneNTPro-v7.0.2168.zip のような名前のファイルです。解凍しないでください。NinjaTrader は .zip をそのままインポートします。
- 初回アクティベーションのためのインターネット接続。
- 分析する銘柄のティック (time & sales) データ。OrderVane NT Pro は、自分で要求する 1 ティックのシリーズからフットプリントと Session Map を作ります。

ステップ 1 — パッケージをインポートする

1. NinjaTrader の Control Center で Tools -> Import -> NinjaScript Add-On... を開きます。
2. ダウンロードした OrderVaneNTPro-v... .zip ファイルを選び、確定します。

3. インポートが終わると NinjaTrader が知らせてくれます。

パッケージには 1 つのアセンブリ (OrderVane.NT8.dll)、インジケーター OrderVane Pro、描画ツール OrderVane Range

Box、そして設定ウィンドウ用の補助スクリプトが含まれています。NinjaTrader はインジケーターを Documents\NinjaTrader 8\bin\Custom\OrderVane.NT8.dll に対してコンパイルします。

ウイルス対策の注意 — 一部のウイルス対策ソフトや Windows SmartScreen が、新しく署名のない .dll を誤検知することがあります。ウイルス対策ソフトが OrderVane.NT8.dll を隔離した場合は、隔離から復元し、Documents\NinjaTrader 8\bin\Custom を除外に追加してください。

ステップ 2 — 一度コンパイルする (F5)

NinjaTrader は起動時に NinjaScript

を自動で再コンパイルしません。インポートのたびに、次のことを行ってください。

1. New -> NinjaScript Editor を開きます。
2. F5 (コンパイル) を押します。エディターがエラーなしと表示するまで待ちます。
3. すでに OrderVane を表示しているチャートがあれば、そのチャートをクリックして F5 (NinjaScript の再読み込み) も押します。

インストールや更新のたびに、エディターの F5 とチャートの F5 の両方を行ってください。

ステップ 3 — ご自身のワークスペースを使う

OrderVane のチャートは、ご自身のワークスペースで作ってください：Control Center -> Workspaces -> New で名前を付け、その中にチャートを作ります。OrderVane の設定 — ライセンスキーを含む — はワークスペースと一緒に保存されるので、NinjaTrader の終了時に保存を求められたら保存してください。

ステップ 4 — OrderVane をチャートに追加する

1. 分析したい銘柄のチャートを開きます。
2. チャートを右クリック -> Indicators... で、Available の一覧から OrderVane Pro を選び、add、続いて OK をクリックします。
3. NinjaTrader がチャートの履歴を読み込み終えるまで待ちます。"Calculating..." と表示されている間、NinjaTrader は新しいインジケーターや設定の変更を受け付けません。

ステップ 5 — ライセンスキーを入力する

1. インジケーターの設定を開きます (チャートを右クリック -> Indicators... -> OrderVane Pro を選択)。
2. License グループで、キーを License key に貼り付け、OK / Apply をクリックします。
3. キーの確認が終わると、同じグループの License status の行に結果が表示されます。有効なキーが入力されるまで、チャートには "OrderVane NT Pro — license required" と、その理由とキーの入力場所 (Indicator settings -> License -> License

key) が表示されます。ローソク足は見えたままですが、OrderVane の描画は非表示になります。

ステップ 6 — 動作を確認する

- チャートパネル左上のインジケーター名が `OrderVane Pro` で始まっています。
- License status が Active — 体験版キーの場合は Free trial · N days left — と表示されています。同じ文字がチャート上のインジケーター名の後ろにも出ます。
- ローソク足の幅が広がるまでズームインすると、各足の内側に買値・売値のセルが現れます。
- Session Map が専用のウィンドウで開きます（インジケーターの Parameters グループにある設定 Session Map window）。

最初の読み込みには少し時間がかかります。OrderVane は描画の前にチャートのティック履歴を読み込みます。その間、チャートに loading tick history... のような行が表示されることがあります。

フットプリント、マーカー、統計グリッドが描かれるのは、1 ティックのシリーズに約定がある足です。それより古い足はローソク足だけで描かれます。

フットプリント足の読み方

フットプリント足は、1 本のローソク足の実体を価格のラダーに置き換えます。各行は 1 つの価格（またはティックのまとまり）で、それぞれの行が 2 つに分かれます：

- 左半分 = 買値側。買値で約定した出来高 —
売り手が、待機している買い手の注文に売りをぶつけた分です。
- 右半分 = 売値側。売値で約定した出来高 —
買い手が、待機している売り手の注文を買い上げた分です。

OrderVane は、各約定の側をその瞬間の買値と売値から決めます：売値以上の約定は買い、買値以下の約定は売りとして数え、その間の約定はティックルールに従います。

既定では各セルに出来高が表示され、数字の背後にはそのセルの大きさに比例した淡い横バーが引かれるので、数字を一つひとつ読まなくても相対的な活発さが分かります。セルの数字は、約定件数、その価格帯の買値・売値の割合、平均約定サイズにも切り替えられます（Footprint cell data type）。

行はまとめられています。既定では 3 ティックが 1 行にまとめられます（クイックメニューの Ticks per row、または設定の Footprint price step (ticks, 1=off)）。1 にすると全ティックが見えますが、行が低くなるため、数字が収まるまでさらにズームインする必要があります。

色の意味

数字のほとんどは意図的に中立色にしています。色は、注目に値するもののためだけに使います：

- インバランス。ある行の片側が反対側の 3 倍以上あるとき（Footprint imbalance ratio）、その半セルに色が付き、数字が太字になります —
売値側には上昇色、買値側には下降色です（既定の OrderFlow パレットではシアンとオレンジ。Footprint color scheme で Classic を選ぶと緑と赤になります）。既定では同じ行の 2 つの半分を比較します。斜めの比較は別のスイッチで、既定はオフです。
- 積み重なったインバランスのゾーン。インバランスの行が 3 行以上連続して積み重なると（Footprint stacked imbalance bins）、OrderVane はその価格帯を印

し、価格がそこを抜けるまで右へ延長します。過去の足の上では上下の境界線だけが見えるので、セルは読みやすいままです。最後の足より右ではゾーンがハッチングで塗られます。ゾーンの始まりには **Stack▲ ×3**

のようなラベルが置かれます。破られたゾーンは、すぐに消えるのではなく薄れていきます。

- POC — その足の中で最も多く約定した価格 — は金色の枠と星印で示されます（Show POC highlight (yellow fill + outline + star)、既定でオン）。
- バリューエリア — POC を囲み、その足の出来高の 70% を含む帯（Value Area percent (50-95, std 68)） — は、既定では上下の点線の境界線として描かれます。背景の着色、またはその両方に切り替えられます（Footprint value area style）。点線は、セルが隠れる地点を越えてズームアウトしても見えたままです。

OrderVane は各足の内側に小さな水平のボリュームプロファイルも描きます（Footprint volume profile、既定でオン）：1 行につき 1 本のバーで、長さはその行の出来高、色はその行のデルタで決まり、余裕があればバーの上にその行のデルタが表示されます。その足がどこに約定を集中させ、各価格でどちらの側が勝ったかがひと目で分かります。

各足の上では、合計出来高のラベルとデルタのラベルがその足の合計を示します（どちらも既定でオン）。

フットプリントが残す水準

これらは確定した足から描かれ、価格がそこを処理するまでチャートに残ります：

- Zero print levels（既定でオン） — 確定した足の中で、片側にまったく約定がなく、反対側が少なくとも Zero print min side volume（10）約定した価格です。価格がそこに戻ってくると、線はその後の数本の足のあいだに薄れて消えます。
- Naked POC lines（既定はオフ） — ある足の POC を、価格が戻ってくるまで **nPOC** とラベルの付いた点線で右へ延長し、戻ったら薄れて消えます。
- Unfinished auction（既定はオフ） — 両側に約定があった足の高値または安値に引く紫の線で、**UA** とラベルが付きます。
- Bar-POC dots（既定はオフ） — 各足で最も多く約定した価格に打つドットです。

これらは何が約定したかの説明です。どれも、価格がそこで反応するという予測ではありません。

ズームアウトすると何が起きるか

OrderVane は画面を詰め込むのではなく、表示を簡略化します：

- 足幅が 34 px（既定）を下回るとセルは完全に隠れ、ローソク足だけが見えます（Footprint cluster min bar width (px)）。
- 行の高さが 11 px を下回ると数字が隠れ、既定ではセルも一緒に隠れます（Footprint text min row height。Footprint: hide cells when numbers do not fit は既定でオンで、オフにすると数字のない色付きの箱が残ります）。対応する足幅のしきい値（Footprint text min bar width (px)）もありますが、こちらも既定は 34 px です — つまり初期設定では、数字が消えるのと同じ足幅でセルも消えます。
- その足の最大セルの 3% より小さいセルは数字を表示しませんが、バーは残します（Footprint text dust filter %）。インバランスの行と POC は対象外です。
- 4 桁の数字が収まらない場合も、セルは数字を表示しません。これには設定がありません。

セルが隠れているときは、各足の下に小さな方向の三角を描いて、その足のデルタがどちらへ向かったかを示せます（Delta shadow when zoomed out、既定はオフ）。

足がハッチングになる場合 — 淡い斜線のハッチングで描かれた足は、読み込まれたティック履歴の範囲内にあり、チャートにはその足の出来高もあるものの、1 ティックのシリーズの約定がその足に 1 つも入らなかったことを意味します。その区間の買いと売りの内訳が分からないため、OrderVane はそこにセルもデルタも表示しません。足幅が十分あるときは (Footprint text min bar width (px)、既定 34 px)、その足の上に Σ と数字で合計出来高が表示されます。

白いチャートでは

NinjaTrader のチャート背景は既定で白です。チャートの背景が明るいとき、OrderVane は文字・線・中立色の塗りや暗くして読みやすさを保ちます。ご自身で色を変える必要はありません。

テーブル上のマーカー

大口約定バブル (●)

バブルはすべて大きな約定です：OrderVane

はそれをテーブルから取り出し、実際に起きた価格と時刻に描きます。Time interval (sec) (既定 0.1 秒) 以内に届いた約定はまとめられ、そのまとまりの合計が Big trade min volume (既定 60) に達し、値幅が Big trade max span (ticks) 以内で、デルタ (買い引く売り) が合計の Min delta filter (%) 以上のとき、大口約定として数えられます。バブルの色は多く約定した側、大きさは出来高に応じて決まります。1 本の足の中で 2 ティック以内にある同じ側のバブルは、1 つにまとめて描かれます。

ティック履歴が届いていないところにはバブルはありません：OrderVane は約定の形をした推定値を描くことはしません。

Marker importance filter (オン) は、表示中のチャートに収まる最も大きいバブル — 幅 24 ピクセルあたりおよそ 1 つ — と、直近 10 分のバブルすべてだけを描きます。すべて見るにはズームインしてください。Bars to show (0 = all) はマーカーを直近の足に限定し、Lane stacking enabled (オフ) は重なったバブルをレーンに振り分けます。

吸収バー

短い横棒は、大口約定が届き続けたのに価格が動かなかった価格を印します：値幅が Absorption max range (ticks) (1) 以内に収まり、同じ側で、数秒以内の間隔、互いに 1 ティック以内にあるまとまりが統合され、その結果が Absorption min volume (100) に達すると描かれます。色は、ぶつけていた側を表します。

同じ側の吸収バーが 2 つ以上、近い価格 (3 ティック以内・45 分以内) に並ぶと、Abs▲ ×N または Abs▼ ×N とラベルの付いたゾーンになります (Absorption stack zone、オン)。確定した足がそのゾーンの向こう端を 1 ティック超えて約定すると、ゾーンは薄れます。

クラスター (ダイヤ)

ダイヤは、45 秒以内・4 ティック以内に届いた同じ側の大口約定 2 つ以上を、その合計サイズが Cluster min volume (50) に達したときに印します。ダイヤの下に数字がその合計サイズです。

リロードマーカー

R×N とラベルの付いた短い線は、同じ方向の大きな約定が届き続けた価格を印します：少なくとも Reload min count (3) 回、それぞれが直前のものから Reload window

(sec) (45) 以内に届いたものです (Reload markers、オン)。

Adapt チップ

チャートの上端中央に、Adapt N と書かれた小さなチップがあります。これは OrderVane がお客様自身の履歴から導いた「大口」のサイズです：直近の各日で最大だった大口約定の平均 (Lookback days (3-30)、既定 3) に Factor (0.1-3.0, step 0.05) を掛けたもので、Big trade min volume を下回ることはありません。記録が 3 日分に満たない間は (base n/3d) と表示され、(held) は最後に得た値を表示していることを意味します。

既定ではチップは参考表示だけで、バブルは固定の Big trade min volume を使い続けます。Apply adaptive to markers をオンにすると、バブルは代わりに適応サイズを使います — より少なく、より大きな約定になり、相場の変化に合わせてチャート全体が絞り込み直されます。

サウンド

Sound enabled (オン) のとき、バブルが使うサイズ以上のライブの大口約定で短い音が鳴ります — 買いと売りで別の音です — ただし Sound cooldown

(ms) (1500) より頻繁には鳴りません。既定のサウンドファイルは Documents\OrderVane_Sounds\ に作られます。履歴の読み込み中は無音です：音が鳴るのは、いま起きている約定だけです。

これらはすべて、すでに約定したものの観察です。どれも売買シグナルではありません。

ボリューム・シェルフ

ボリューム・シェルフ (Volume shelf

levels) は、その周辺で取引された出来高のうち異例の割合を占めた価格です。OrderVane はその価格を、価格が戻ってくるまでチャートに残します：

- 実線 — まだ価格がその水準に戻っておらず、線は右端まで伸びます。破線 — 戻っており、線はその足で止まります。どちらでもシェルフは残ります。シェルフは時間経過では消えず、描ける本数を超えると古いものから外れます (Volume shelf max active)。Volume shelf extend past touch を有効にすると全ての線が右端まで伸びます。短い縦のティックがシェルフの始まりを示します。開始点が画面の外にある場合は、ラベルの先頭に « が付きます。
- 色はその価格で多く取引した側です。両側が近い場合は中立のグレーのままになります。
- ラベルは例えば 434×343 30m 56% と読みます：左がビッド側 (売り)、右がアスク側 (買い) の出来高 — フットプリントのセルと同じ順序 — その次が測定に使った窓 (30m / 60m / 4h) と、勝った側の比率です。その価格に大口約定が落ちていれば ●2 が末尾に付きます — そのシェルフを作ったプリント数です。
- 太いほど、より多くの窓が確認したという意味です。各水準は三つの窓 (30・60・240分) で同時に測られ、線の太さはそのうち何本が異例と見なしたかに従います。Volume shelf min scales (1-3) はその本数の窓が確認した水準だけを残します。
- 同じシェルフがどの時間足でも同じ価格に立ちます。測定はチャートの足ではなく、1 ティック系列から作った固定の5分区間を読みます。1分足から1時間足に切り替えてもシェルフは動かず、数値も変わりません。
- 「異例」とは、その窓の平均レベルに対して大きいという意味です (Volume shelf strength (x avg level))。Volume shelf min volume (0=auto) は枚数での絶対下限を加えます。0 のままなら観測された平均に従います。
- 任意のカウント。Volume shelf verdict counter (グループ Footprint (Advanced)、既定でオフ) をオンにすると、各ラベルに 3/8 が加わります — 価格がそのシェルフを

8 回訪れ、そのうち 3 回は反対側での終値なしに終わった、という意味です。直近の終値がその水準を尊重している間は、線は実線のままです。終値が水準の向こう側に着くと、線は点線に変わります。これは記録であって、予測ではありません。

クイックメニューの LEVELS グループにシェルフのスイッチと主な数値があり、シェルフがオンの間は Legend のピルがシェルフの線を名前で示します。

シェルフはその価格で起きたことの記録です。価格がそこで反応するという予測ではありません。

クイックメニュー（チャート上）

チャートの左端、上から約 5 分の 1 の位置に、小さなボタンが縦に並んでいます。ボタンにマウスを合わせると、それが何かが表示されます：

1. Range profile — レンジプロファイルのボックスをドラッグで描く準備をします（下のレンジプロファイルを参照）。
2. Footprint & markers — ここで説明するクイックパネルを開きます。
3. Big trades list — 大口約定ウィンドウを開きます（次の節を参照）。

クイックパネルのボタンをクリックするとパネルが開きます — 設定ウィンドウを開かずに画面の表示を変える最速の方法です。もう一度ボタンをクリックすると閉じます。パネルは作業中もチャートをパンしている間も開いたままです。

左の列はフットプリントそのものを操作します：

- Footprint cells — ラダー全体のマスタースイッチ。
- STYLE — 4 つの行：Bar style、Color scheme、Value Area、Candle style。行をクリックすると、そのすぐ下に選択肢が開きます。複数の行を同時に開くことができ、選択肢を選んでもパネルは閉じません。
- Ticks per row — [-] value [+] のステッパ。ボックスには、1 行にまとめられているティック数が 3t のように表示されます。1 より下へ下げると Auto が選ばれ、ボックスにはボラティリティの規則が選んだ値が Auto 4t のように表示されます。
- Delta width — 足の内側のボリュームプロファイルの幅（足幅に対する割合）。
- DISPLAY — POC highlight、足の上の出来高ラベル、足の上のデルタラベル、そして Delta shadow (zoom)。

右側には、チャートの上に描かれるものがすべて、バナー付きの列（OVERLAYS、PROFILE、STATISTICS、SESSION VA）に入っています。グループの見出しをクリックすると折りたたまれます。

- MARKERS — 最初は Symbol preset：クリックすると市場が展開し（CL / ES / NQ / GC / RTY / 6E）、1 つ選ぶとその市場の開始しきい値が即座に書き込まれます。3 つの出来高ステッパがプリセットと一致なくなるとすぐに、行は Custom と表示されます。次に Big trade markers とその Min volume・Bars（何本前の足までマーカを描くか。0 のときボックスは All と表示）、その下に字下げして Lane stacking、Apply adaptive、Importance filter。続いて Aggression clusters と Cluster vol、Absorption と Absorb vol、そして Reload markers。
- LEVELS — Stacked imbalance zones、Naked POC lines、Unfinished auction、Zero print levels（オンの間は ZP min vol 付き）、Bar-POC dots。
- CUSTOM PROFILE — Range profile (draw)、RP LVN bands、そして RP tape strip（ボックス内の速度ヒストグラム。既定はオフ）。
- UI — Overlay legend。

- BAR STATS — Bar stats grid、Row height、T/s meter row とその Data ・ Style ・ Smoothing ・ Alert の選択肢、そして Vol backdrop。
- PREV SESSION VA — セッション水準の操作：Show profile、Extend levels、Touch band、Rebuild profile、Absorption verdicts、Session hours とその Session open ・ Session close、VA %、Band ticks、Days back、そして Session Map ウィンドウをオン ・ オフする Session Map window。

数値ステッパーはすべて 4 通りの方法で操作できます：マイナスまたはプラスをクリックするとちょうど 1 段、長押しすると連続で、行の上でホイールを回す、または値のボックスをクリックして数字を入力する。ホイールが捕捉されるのはステッパーの行の上だけです —

それ以外の場所では、これまでどおりチャートをスクロール ・ ズームします。

行にマウスを合わせると、そのスイッチが何をするかを示すカードが出ます。これらを変えるのは表示だけです — 注文には決して触れません。

凡例

Overlay legend は、チャート右上の小さな Legend のピルとして折りたたまれた状態で始まります。クリックするとボックスが開き、いまチャートに描かれている線やゾーンの種類 — 積み重なったインバランスのゾーン、ゼロプリント、直前セッションの水準、吸収マークなど — を名前付きで示します。見出しをクリックすると、また折りたたまれます。

大口約定リストのウィンドウ

左の列の 3 番目のボタンは OrderVane — Big trades

を開きます。チャート上の大口約定を新しい順に並べた表で、時刻、側 (B =

買い手が売り注文を買い上げた、S = 売り手が買い注文に売りをぶつけた)、価格、サイズ、そしてサイズと買い ・ 売りの内訳を示すバーが表示されます。表に並ぶのはバブルが描くのと同一約定で、最大 500 行です。ボタンが表示されるのは Big trades list、Engine enabled (tick-based)、Show markers (●) がすべてオンのときです。もう一度クリックするとウィンドウが閉じます。

- 行をクリックすると、チャートがそのバブルまで移動し、約 3 秒間それを丸で囲みます。キーボードでも同じことができます：↑ と ↓ で行を移動し、Enter で選択中の行へ移動、Home で最新の行へジャンプ、Page Up / Page Down でスクロールします。
- 上部の All / Buy / Sell で側ごとに絞り込みます。
- Size ≥ はリストの最小サイズを決めます：- と + (Shift を押しながらだと 10 刻み)、マウスホイール、または数字をクリックして入力します (Enter で適用、Esc で取り消し)。ウィンドウがアクティブなときに数字キーを押しても同じ編集が始まります。リストがチャート自身のバブルの最小値を下回ることはありません。
- 時刻はチャートのタイムゾーンで表示されます。今日の行は時刻だけで、それより前の各日の最初の行には OCT 21 00:12 のように日付が付き、日と日のあいだは点線で区切られます。
- ウィンドウの幅が十分にあると、さらに 3 つの列が現れます：デルタの割合 (買い引く売りがその約定に占める割合)、BASIS (その約定の直前 1 分間、または Basis volume interval (sec) で決めた時間内に約定した全出来高に対する、その約定の割合)、そして L2 % (NinjaTrader では - と表示されます)。
- メニューボタンには Theme、Snap to windows、Always on top、Go to newest があります。ピンのボタンでウィンドウを最前面に保ちます。

チャートが履歴を読み終えるまで、ウィンドウには Waiting for the chart...

と表示されます。位置、サイズ、テーマ、絞り込みは

Documents\OrderVane\bigtrades_window_nt.txt に記憶されます。

セッション水準

セッション水準は、市場が直前のセッションでどの価格に合意して時間を過ごしたかを示し、今日の取引のあいだチャートに残します。これは既定でオンです。

セッション水準はレンジプロファイルのレイヤーで描かれるため、Range profile on rectangles もオンになっている必要があります（既定でオンです）。

描かれるもの：

- 直前セッションのボリュームプロファイル。それが属する時間帯の上に自動のプロファイルボックスとして描かれ、D-1 と日付のラベルが付くので、そのセッションがどこで価値を築き、どこに空白を残したかが見えます。
- 右へ延長された VAH・VAL・POC。そのセッションの終わってからチャートの右端まで延び、それぞれに価格のラベルが付きます。POC の線は破線です。価格が近づいていくのを見守るのは、これらの線です。
- VAH と VAL を囲むタッチバンドー上下に数ティックずつ（Session levels: band ticks、既定 3）。価格がぴったりの数字で止まることはめったにないので、実際に「その水準で」が意味するのはこのバンドです。
- タッチが異例の労力を伴い、価格がバンドをほとんど突き抜けなかったときの吸収マーク。タッチが続いた期間にわたって水準の上に短いバーとして描かれ、absorption ラベルと、タッチが来た側を示す矢印が付きます。
- 現在のセッションは始まりからごく淡く着色され、始まりの位置に破線が引かれます。next session とラベルの付いた点線は、次のセッションが始まる位置を示します。

吸収マークは観察であって、予測ではありません。それが言っているのは、この水準で大きな量が約定し、価格はそこを抜けなかった、ということです。これはすでに起きたことの説明です。確率でも、シグナルでも、推奨でもありませんーそれをどう使うかはあなたの判断です。

このマークはタッチが終わった後に、価格が突き抜けなかったときにだけ描かれます。つまり見えているマークはすべて水準が持ちこたえたタッチの上にあり、突き抜けたタッチにはマークが付きません。振り返ると、マークはいつも完璧な成績のように見えます。それはマークの定義がそうさせているだけで、吸収があれば水準が持ちこたえるという証拠ではありません。

セッションの選び方

既定では Session levels: session hours (blank = auto) は空欄のままで、OrderVane は NinjaTrader が報告するその銘柄の取引日を使います。代わりに立会時間を使うには、その時間帯を取引所時間で入力するか（例：08:00-13:30）、クイックパネルの Session hours・Session open・Session close の行を使ってください。Session Map ウィンドウの Session hours メニューも同じ設定を変更します（下の立会時間を設定するを参照）。

Session levels: sessions back（既定

1）は、直前のセッションをいくつ描くかを決めます。古いセッションほど淡く描かれ、VAH-2、VAL-2 などのラベル付き、タッチバンドは付きませんーバンドが印するのはいま測っている水準であり、複数の日に対して同時に測ることはバンドの目的ではないからです。

バリューエリアの割合やセッションの時間帯を変えると、プロファイルは再構築されます。履歴がさらに読み込まれた後は、クイックパネルの Rebuild profile で再構築を強制することもできます。

立会時間を設定する

Session Map の立会時間の行は取引所の時計を使います。設定は Session Map ウィンドウ自身のメニューで行います：ウィンドウ右上のメニューボタン -> Session hours。銘柄のルート（例：CL）ごとに時間帯が保持されます。未設定のままだと、ウィンドウは取引日全体のセッションを使います（"RTH not set"）。チャート上のクイックパネルにも Session hours の行があります：auto は取引日のセッションを使い、manual は設定した Session open と Session close を使います。

Session Map ウィンドウ

Session Map は昨日の値を文脈の中に置きます：直近 5 セッションと今日を 1 本の価格軸に並べ、専用のウィンドウに表示するので、2 台目のモニターに置いておけます。このウィンドウは既定でオンで、有効なライセンスで OrderVane Pro がチャートにあると開きます。

ウィンドウに表示されるもの：

- **LAST 5 SESSIONS** — 過去の 5 セッションを横に並べ、それぞれにローソク足、ボリュームプロファイル、バリューエリアと POC、VWAP を表示します。各セッションの上のラベルは、そのセッションの値がその前のセッションに対してどこに位置したかを示します：Higher value、Overlapping higher、Inside value、Outside value、Unchanged value、Overlapping lower、または Lower value。
 - **TODAY** — 今日のローソク足と形成中のプロファイル、今日の VWAP、そして横切って描かれる直前セッションの VAH・POC・VAL。
 - **VALUE（左）** — 直前セッションの VAH・POC・VAL の価格と、直近の約定価格がそのバリューエリアに対してどこにあるか。
 - **WATCH（左）** — 近くにある水準に番号を付けて並べ、それぞれが何であるかと、何ティック離れているかを示します。同じ番号が、価格軸上でそれらの水準を印します。
 - **LAST 10 / 20 SESSIONS（左）** — 直近の 10 セッションと直近の 20 セッションのうち、値を上へ動かしたものがいくつ、下へ動かしたものがいくつ、どちらでもなかったものがいくつあったか、さらにそれぞれの期間で値がどれだけ動いたか（Net move）。
 - **VOLATILITY（左）** — 5 分足での現在の ATR と、それがこの時間帯の通常的水準と比べてどうか。
- このウィンドウにあるものはすべて、すでに約定したものの説明です。ウィンドウのいちばん上の行にもそう書かれています — `description, not a forecast` — そして WATCH のリストは場所の一覧であって、そこで行動するよう勧めるものではありません。

チャートとウィンドウの連携

- クロスヘアの連動。チャート上でマウスが指している価格がウィンドウの同じ価格に印され、ウィンドウ上でマウスが指している価格はチャートに青い破線で描かれます。その価格がチャートの表示範囲より上または下にあるときは、代わりにチャートの上端または下端に矢印と価格が表示されます。
- 閉じる。ウィンドウを X ボタンで閉じると、NinjaTrader を再起動したあとも閉じたままになります。開き直すには、クイックパネルの Session Map window の行をオフにしてからオンにするか、インジケーターの設定で Session Map window をオフにして OK をクリックし、もう一度オンにしてください。
- OrderVane Pro を載せたチャートがいくつあっても、Session Map ウィンドウは 1 つです。

ウィンドウ自身のメニュー

ウィンドウ右上のメニューボタンをクリックするか、ウィンドウ内の任意の場所を右クリックします：

- **Always on top** — ウィンドウを他のウィンドウより手前に保ちます。T キーでも同じことができます。

- Snap to — ウィンドウを動かすときに吸着する対象：Off、NT windows、または NT windows + screen edges。
- Theme —
Dark、Light、Classic、Terminal、OrderVane、Purple、Ember、またはチャートの背景に追従する Auto。このウィンドウだけに適用され、チャートは自身の色のままです。
- Sections — Volatility、Watch levels、Value history の各ブロックをオン・オフします。Value は常に表示されます。左側のカードはウィンドウの幅が十分なときにだけ現れます。幅が足りないときは、このメニューに必要な幅が表示されます。
- Watch levels — いくつ表示するか（3～6）、そしてどの任意の種類を加えるか：夜間取引の高値と安値、直前セッションの高値と安値、15 分以上持ちこたえている今日の高値または安値、2 セッション前のバリューエリアの端。
- VWAP — VWAP の線（今日のものと、過去の各セッションのもの）を表示または非表示にします。
- Chart crosshair link — チャートとの価格の連動をオン・オフします。
- Session hours — 取引所時間での Automatic または Regular hours (RTH)。立会時間を設定するを参照してください。チャートのセッション水準も同じ時間帯を使います。
- Custom title bar (NT color) — オフにすると Windows 標準のタイトルバーになり、その場合メニューはウィンドウ内の右クリックで開きます。
- Minimize（ウィンドウがアクティブな間は X キーでも）と Close window。

ウィンドウは、位置、サイズ、テーマ、そしてこれらの選択を `Documents\NinjaTrader 8\OrderVane\session_map_window.json` に記憶します。

必要なもの

Session Map はチャートのフットプリントと同じ 1

ティックのシリーズに加えて、ボラティリティのカード用に要求する 5

分足のシリーズを読み取ります。その履歴を読み込んでいる間、ウィンドウには `Loading this chart's tick history...`

と表示されます。読み込まれたティック履歴が覆っていないセッションは描けないので、見たい 5 セッション分の日数をチャートに読み込んでください。

計測レイヤー

足ごとの統計グリッド

既定でチャートの上端に固定される小さな表で（Bar stats grid position）、1 本の足につき 1

列、足そのものと揃います。各行が 1 つの計測値です。既定でオンの行は、合計出来高（Vol）、1 秒あたり出来高（V/s）、テープ速度の行、デルタ、出来高に対するデルタの割合、累積デルタ（NinjaTrader の取引日ごとにリセット）、そして足の中で到達した最大・最小デルタ（maxD、minD）です。足の長さ、約定件数、買い・売りの出来高、POC の価格、デルタの変化はオンにして使えます。行は 1 つずつ切り替えられます。行の名前はグリッド右端の細い列、価格軸のすぐ左に置かれます。チャートの価格スケールが自動の間は、足がグリッドの下に描かれないよう、OrderVane がパネルに占めるグリッドの分だけスケールを広げます。

テープ速度の行は数字ではなく、選んだ計測値（既定は 1

秒あたり出来高）の小さなヒストグラムで、色はその足のデルタの向きを表します。既定の bipolar スタイルでは、デルタが正の足のバーは中心線の上に立ち、負の足のバーは中心線の下に垂れ下がります。

さらに各速度バーの隣に 2 本目のバー（既定は出来高）が並びます（Bar stats: tape meter volume backdrop）。

Bar stats: heat coloring (value-scaled cell background) がオンのとき、値がその行の表示中の足の平均を大きく上回るセルが着色されるので、数字を読まなくても異常な足が目に入ります。形成中の足はその平均から除外されます。

空のセルは正直さです。読み込まれたティック履歴の外にある足には買い・売りの内訳がなく、デルタ系の行はゼロではなくダッシュを表示します。ゼロは「完全に均衡している」と読めてしまい、それは「分からない」とは別の主張になるからです。

レンジプロファイル（ドラッグして描画）

左のボタン列のいちばん上にある Range profile ボタンをクリックし、NinjaTrader の矩形を描くのと同一要領で、チャートの任意の区間にボックスを描きます。OrderVane は自分のティックデータからまさにその範囲のボリュームプロファイルを構築し、すぐに描画します。

このボックスはステップ 1 の OrderVane Range Box 描画ツールです（NinjaTrader では OrderVane Range Profile と表示されます）。そのため、選択・移動・サイズ変更・削除・ワークスペースへの保存は NinjaTrader が扱います。チャートを隠さないよう、塗りつぶしなし・淡い破線の枠で描かれます。描いている間と、左右の端をドラッグしている間は、上下の端が中の足の最高値と最安値に追従します。自分で置きたいときは Shift を押してください。ボックス全体を動かしたり、上下の端をドラッグしたりした場合は、指定した価格が保たれます。プロファイルはボックスに追従します：移動やサイズ変更をすると数値が再構築されます。

各ボックスは独立しています。ボックスを選択するか、マウスを合わせるか、内側をクリックすると、ボックスが縁取られ、よく変更する項目のチップ列がその下に現れます：

- **L** と **R** — 各サイドのソース：Volume、Delta、Buy、Sell、TPO、Off。既定では左側がデルタ（TPO の輪郭付き）、右側が出来高です。そこで生まれる蝶の形は、方向を伴わずにサイズだけが約定した場所を見つけやすくします。
- **L+** と **R+** — 塗りつぶした側の上に輪郭として重ねる追加のソースで、形の比較に使います。
- **VA**（バリュエーションとその割合、既定 68）、**POC**、**VWAP**（ボックスに沿って発展していく VWAP の線）、ティック単位の行のまとめ（1t など）、**Mag**（マグネット。ボックスを離れたときに角を足にスナップします）、**LVN**（出来高の少ない帯）、**T/s** とその刻み（ボックス右端に沿った速度の帯）、そしてボックスを削除する赤い×。

あるボックスで初めてチップを変更すると、そのボックスはそれ以降、自分の設定を保持します。ボックスをダブルクリックするとプロパティが開き、そこにある OrderVane Profile グループに、ボックスごとの同じ値があります。

選択中のボックスには、上端に小さなハンドルも表示されます：横にドラッグすると、バーがボックス内でどこまで伸びるか（Width N%）を変えられます。

セッション水準の直前セッションのプロファイルは、同じ種類の自動ボックスです。そのチップも同じように動作しますが、マグネット・速度の帯・削除はなく、変更はすべての自動ボックスに適用されず。

既定では、チャート上のすべてのボックスが 1 つのスケールを共有するため、活発な 1 時間は静かな 1 時間より明らかに長いバーになります（Range profile common scale across boxes）。ティック履歴が覆っていない足の上のボックスには no tick history in this range と表示されます。

最初の 30 分

慣れるための、実際になぞれる順序です：

1. セルが出るまでズームインする。
数字が収まるまで足の幅を広げます。ローソク足しか見えないなら、まだしきい値の下です — 「何も表示されない」の原因として圧倒的に多いのがこれです。
2. 1本の足をゆっくり読む。POC（金色・星付き）、バリューエリアの点線、足の上の合計出来高とデルタのラベルを探します。他を足す前に、左=買値・右=売値に慣れてください。
3. インバランスを見つける。まず色の付いた太字の半セル、次にそれがいくつも積み重なっている場所を探します。その積み重なりが、後から実際に使うことになる延長ゾーンになります。
4. 行のまとめ方を調整する。クイックメニューを開いて Ticks per row を上下させます。小さくすれば細かく、大きくすればズームアウトでも読める行になります。正解の値はありません — 銘柄の呼値とご自身の取引距離次第です。
5. 水準を1つつ有効にする。クイックメニューの LEVELS グループで Naked POC lines、次に Unfinished auction を有効にし、既定でオンのゼロプリントに加えて、ご自身の銘柄でそれぞれ何が増えるかを見てください。一度に全部つけると、どの線が何なのか分からなくなります。Legend のピルが、チャートに出ているものの名前を示します。
6. 大口約定リストを開き、いくつかの行をクリックします。チャートがそれぞれのバブルへ移動します。
7. Session Map を 2
台目の画面に置き、チャートの上でマウスを動かします。ウィンドウの同じ価格に印が付きます。

週末にインストールする場合は？ NinjaTrader の Playback 接続はダウンロードした市場データを再生するので、次のセッションの前にひととおり見て回るのに便利です。

次のステップ

- 自分仕様にする。チャートを右クリック -> Indicators... -> OrderVane Pro で、セルの内容・色・行のまとめ方・しきい値・サウンドを調整できます。
- 表示専用、設計としてそうです。OrderVane はオーダーフローを可視化します — 注文を出すことも、売買シグナルを出すこともありません。主導権は常にあなたにあります。
- お困りですか？ hello@ordervane.com までご連絡ください — 喜んでお手伝いします。

無料体験

体験版キーで、製品のすべてが 14 日間使えます。カードは不要です。ordervane.com/ninjatrade で入手できます。

- 体験はパソコン 1 台につき 1 回。同じパソコンで 2 つ目の体験版キーを入れると、
"Free trial already used on this computer — one trial per PC" と表示されて受け付けられません。
- 体験期間が終わると、チャートに "Your free trial has ended — get a license at ordervane.com" と表示されます。
- 購入したキーを同じ License key
の欄に貼り付ければ、再インストールせずにロックが解除されます。

ライセンスとアクティベーション

- NinjaTrader 用のライセンスは別です。OrderVane NT Pro は独立した製品です：Quantower 版 OrderVane のキーではロックが解除されず、NT 版のキーでも Quantower のインジケーターは解除されません。
- 接続性の猶予。最初の有効化はオンラインで行う必要があります。その後は、インターネット接続がなくても、最後に確認が成功してから最大 7 日間はライセンスが有効なままです。
- パソコンの台数。購入したキーは 2 台のパソコンで有効化できます。
- 新しいパソコンへ移る。キーを添えて hello@ordervane.com までメールをいただければ、枠を 1 つ空けます。
- キーは大切に保管してください — 購入メールに記載されています。

新しいバージョンへの更新

新しいビルドがあると、チャートのインジケーター名に ↑ Update available · ordervane.com/update と表示されることがあります。OrderVane がこれを確認するのは最大で 1 日 1 回です。この確認では何も送信せず、自動的に何かをダウンロードしたりインストールしたりすることはありません。

1. 購入メールのダウンロードリンクから、現在のパッケージをダウンロードします。
2. NinjaTrader を起動したまま、新しい .zip を古いものの上からインポートします（ステップ 1） — 先に古いバージョンを削除する必要はありません。
3. コンパイル：NinjaScript Editor F5（ステップ 2）。
4. NinjaTrader を再起動します。NinjaTrader は起動時に読み込んだアセンブリを使い続けるため、新しいバージョンは再起動後に動きます。ワークスペースと OrderVane の設定は保持されます。ライセンスキーを入れ直す必要はありません。

先物では、インジケーター名にロールオーバーの目安が Roll D-12 のように付くこともあります。これは NinjaTrader 自身のロールオーバー日から取ったものです。ロール日の前の最後の 5 日間は Roll D-3!、その日以降は Roll NOW! と表示されます。

アンインストール

NinjaTrader は、アセンブリを使っているスクリプトがなくなってからでないとアセンブリを削除しないので、次の順序で削除してください：

1. チャートから OrderVane Pro を削除し（右クリック -> Indicators... -> remove）、OrderVane Range Box の描画もすべて削除します。
2. New -> NinjaScript Editor を開きます。NinjaScript Explorer で、以下の各ファイルを右クリックして Remove を選びます。順序は次のとおりです：
 - AddOns -> OrderVaneProConverter
 - Indicators -> OrderVanePro.Settings.g
 - Indicators -> OrderVanePro
 - DrawingTools -> OrderVaneRangeBox
3. Control Center -> Tools -> Remove NinjaScript Assembly... で OrderVane.NT8 を選び、Remove をクリックします。
4. NinjaScript Editor で F5 を押します。

NinjaTrader がファイルがまだ参照されていると表示した場合は、表示されたファイルを先に削除してからやり直してください。痕跡をすべて消すには、Documents\OrderVane_NT_Pro

フォルダ（ライセンスのキャッシュ）も削除してください。

トラブルシューティング

症状	対処
インジケーター一覧に OrderVane Pro がない	NinjaScript Editor を開いて F5 を押してください。NinjaTrader は起動時に、インポートしたスクリプトを自動でコンパイルしません。
更新後もチャートが古いバージョンのまま	NinjaScript Editor で F5 を押してから、NinjaTrader を再起動してください。
NinjaTrader を再起動すると OrderVane が消える	ワークスペースが保存されていません。ご自身のワークスペース（Workspaces -> New）でチャートを作り、保存してください。
「Add」を押しても設定を変えても何も起きない	チャートがまだ読み込み中です（"Calculating..."）。終わるのを待ってから、もう一度試してください。
"OrderVane NT Pro — license required"	License -> License key に有効なキーを貼り付け、インターネット接続を確認してください（最初の有効化はオンラインです）。チャートの 2 行目に、キーが受け付けられなかった理由が表示されます。
"Key not accepted — check that the whole key was pasted"	購入メールから、すべての文字を含めてキーをもう一度コピーしてください。Quantower 版 OrderVane のキーはここでは使えません。
"This key is already in use on its maximum number of computers"	キーを添えて hello@ordervane.com までメールをいただければ、枠を 1 つ空けます。
Session Map に "RTH not set" と表示される	Session Map ウィンドウ右上のメニューボタン -> Session hours で立会時間を設定してください。
"Remove NinjaScript Assembly" でファイルがまだ参照されていると表示される	アンインストールの順序に従って、先にスクリプトを削除してください。
ウイルス対策ソフトが DLL を検知・削除する	新しく署名のないアセンブリに対する誤検知です。OrderVane.NT8.dll を復元し、除外に追加してください。
足の中にセルが出ない	ズームインしてください。既定では、セルは足幅が 34 px を下回ると隠れます（Footprint cluster min bar width (px)）。クイックメニューで Footprint cells がオンかも確認してください。
セルに色のブロックだけ出て数字がない	Footprint: hide cells when numbers do not fit がオフになっていて（既定はオンで、その場合はセルごと隠れます）、行が低すぎて文字が入りません。さらにズームインするか、Ticks per row を上げて行数を減らし高くするか、Footprint text min row height を下げてください。
古い足がローソク足だけになる	チャートが読み込んだティック履歴より古い足です。データ接続がティックを提供していれば、チャートにさらに日数を読み込んでください。
一部の足がハッチングになる	チャートにはその足の出来高がありますが、ティックのシリーズにはその足の約定がありません。データの欠落であり、不具合ではありません。

症状	対処
ローソク足が他のチャートと違って見える	設計どおりです。OrderVane は独自のローソク足を描き、重ならないよう NinjaTrader のものを隠しています。NinjaTrader のローソク足に戻すには、Wide candle overlay enabled をオフにしてください。Cover platform candles だけをオフにすると、ローソク足が2つ重なって描かれます。
直前セッションの水準がチャートに出ない	セッション水準には Session levels と Range profile on rectangles の両方がオンである必要があります。
大口約定リストのボタンがない	Big trades list、Engine enabled (tick-based)、Show markers (●) をオンにし、ライセンスが有効か確認してください。
大口約定で音が鳴らない	音が鳴るのは、バブルが使うサイズ以上のライブの約定だけで、間隔は最短でも Sound cooldown (ms) です。履歴の読み込み中は設計どおり無音です。Sound enabled、Windows の音量、Documents\OrderVane_Sounds\ 内のファイルを確認してください。
マーカが1つも出ない	その銘柄にライブまたは履歴の約定（ティック）データ（time & sales）があることを確認してください。マーカには、サイズのしきい値以上の約定が必要です。

設定リファレンス

チャートを右クリック -> Indicators... -> OrderVane Pro

を選択。設定は以下のとおりグループに分かれています。すべて表示専用です — OrderVane はオーダーフローを可視化するだけで、注文も売買シグナルも出しません。一部の行は、それが依存するスイッチがオフの間は自動で隠れます。表には、多くの方が変更する設定を載せています。残りの行（主に色、間隔、細かなレイアウト）は機能どおりの名前が付いており、必要になるまでは既定のままにしておくのがおすすめです。

Parameters

設定	動作
Session Map window	Session Map を専用のウィンドウで開きます。既定でオン。X でウィンドウを閉じた後に開き直すには、これをオフにして OK をクリックし、もう一度オンにしてください。

License

設定	動作
License key	OrderVane NT Pro を有効化するために、ライセンスキー（購入または無料体験）をここに貼り付けます。
License status	読み取り専用 — 現在の有効化の状態です（Active や Free trial ・ N days left など）。

Footprint — セル

設定	動作
Footprint cluster cells enabled	足の内側の売買ラダーのマスタースイッチ。
Footprint cell data type	セルの数字が何を表すか：出来高、約定件数、その価格帯の買値・売値の割合、平均約定サイズ。
Footprint column layout	買値と売値を左右に並べるか、出来高またはデルタを 1 列で表示するか。
Footprint bar style	見た目を一括で切り替えます：Custom、Numbers、Histogram profile、Delta blocks、Volume blocks、Ladder、Heat row。
Footprint color scheme	9 種類のセル配色（Classic、OrderVane、OrderFlow、LightWater、Monochrome、Gold/Purple、Steel、Ice/Fire、Neon）。
Footprint price step (ticks, 1=off)	1 行に何ティックをまとめるか。既定 3。
Footprint cluster min bar width (px)	この足幅を下回るとセルを隠し、ローソク足だけを描きます。既定 34。
Footprint text min bar width (px) / Footprint text min row height	これらを下回るとセルの数字を隠し、Footprint: hide cells when numbers do not fit がオン（既定）のあいだはセルも隠します。
Footprint: hide cells when numbers do not fit	数字が収まらないズームでは、色のブロックを残さずセルごと隠します。
Footprint volume profile / Footprint profile width % (10-50)	各足の内側にある行ごとのヒストグラムと、その幅（足幅に対する割合。クイックパネルの Delta width）。
Show volume on bar (top/bottom totals) / Show delta on bar (top/bottom totals)	各足の上に描く合計出来高とデルタのラベル。どちらも既定でオン。
Footprint value area style / Footprint VA lines on zoom-out	背景の着色、点線の境界（既定）、またはその両方 — そしてセルが隠れた後も点線を残すかどうか。
Show zero print levels / Zero print min side volume	片側にまったく約定がなく、反対側が少なくともこの量だけ約定した価格を印します。既定でオン。
Reload markers / Reload window (sec) / Reload min count	R×N の線、その時間窓、必要な繰り返し回数。
Unfinished auction marking	両側に約定があった足の高値・安値を印します。既定はオフ。

Imbalance — インバランスとスタックゾーン

設定	動作
Footprint imbalance ratio	行の片側が反対側の何倍あればインバランスとみなすか。既定 3。

設定	動作
Imbalance mode / Diagonal imbalance enabled (adjacent-price)	同じ行の左右を比べるか、隣の価格と斜めに比べるか、その両方か。斜めは既定でオフ。
Imbalance auto min volume / Imbalance min volume (0=off)	画面上の内容から導いた行の最小出来高か、手動の下限。どちらも、1枚の約定が無限倍として扱われるのを防ぎます。
Footprint stacked imbalance bins	連続して何行のインバランスがあればゾーンとするか。既定 3。
Stacked imbalance zone extend (until broken)	価格がそこを抜けるまで、ゾーンを右へ延長します。既定でオン。

POC & Value Area

設定	動作
Show POC highlight (yellow fill + outline + star)	各足で最も多く約定した価格を、金色の枠と星で印します。
Naked POC extension (until touched)	触れられていない足の POC を、価格が戻るまで右へ延長し、その後薄れさせます。既定はオフ。
Show per-candle Value Area shading	各足のバリューエリアを Footprint value area style で決めたスタイルで描きます。
Value Area percent (50-95, std 68)	バリューエリアがその足の出来高のどれだけを覆うか。既定 70。
Bar-POC 4-type enabled / Bar-POC delta mode	各足で最も多く約定した価格に打つドットと、どの足を対象にするか。既定はオフ。

Candles & Takeover

設定	動作
Cover platform candles	NinjaTrader 自身のローソク足を隠し、OrderVane のものと重ならないようにします。既定でオン。
Wide candle overlay enabled	OrderVane 自身のローソク足を描きます。プラットフォームのローソク足が隠れている状態では、これがあなたのローソク足です。オフにすると NinjaTrader のものに帰ります。
Wide candle style	Classic、Border only、Modern left、Modern center、Brick、Histogram、Gradient、または固定 12 px 幅。
Delta shadow when zoomed out	セルが表示できないほど小さくなったとき、各足の下に描かれる方向の三角。既定はオフ。

Power Trades — 大口約定エンジン

設定	動作
Engine enabled (tick-based)	テープからの大口約定検出のマスタースイッチ。
Time interval (sec)	約定を 1 つの大口約定にまとめる時間窓。既定 0.1 秒。
Big trade min volume	約定のまとまりが大口約定（バブル）とみなされる最小サイズ。既定 60。
Bars to show (0 = all)	直近何本の足までマーカを表示するか（0 = すべて）。
Show markers (●)	大口約定バブルを表示または非表示にします。
Marker importance filter	表示中のチャートに収まる最も大きいバブルだけを描きます。直近 10 分のバブルは常に描かれます。
Parent-Order enabled / Show child count (P{N})	時間と価格の近い大口約定を 1 つの親バブルにまとめ、P とまとめた数のラベルを付けます。既定はオフ。
Sub-threshold filter enabled / Min trade size (1-500)	指定したサイズ未満のバブルを除外します。既定はオフ。
Big trades list	大口約定ウィンドウを開く、左の列のボタン。既定でオン。
Overlay legend (level types)	いま描かれている線とゾーンの種類を名前付きで示す Legend のピル。既定でオン。

Power Trades (Advanced)

設定	動作
Min delta filter (%) / Big trade max span (ticks)	まとまりがどれだけ一方に偏っている必要があるかと、覆ってよい最大の値幅。
Basis volume interval (sec)	大口約定リストの BASIS 列に使う時間窓（0 = 60 秒）。

Big Trade Display — バブルの見た目

設定	動作
Lane stacking enabled	重なったバブルを縦のレーンに振り分けます。既定はオフ。
Display mode / Shape type	バブルに合計を出すか買い・売りに分けて出すか、そして円か四角か。
Bubble size min (px) / Bubble size max (px) / Sizing mode	最小と最大のバブルの大きさと、最大の基準を何にするか：画面上の最大の約定（既定）、読み込んだ履歴の中の最大、または固定の基準値。

Adaptive Threshold — Adapt チップ

設定	動作
Threshold enabled	直近の履歴から「大口約定」のサイズを計算し、Adapt N として表示します。
Apply adaptive to markers	On: バブルが適応サイズを使います。Off（既定）：Adapt の値は参考表示だけです。

設定	動作
Lookback days (3-30) / Factor (0.1-3.0, step 0.05)	使う履歴の日数と、結果に掛ける倍率。倍率を下げるとバブルが増えます。

Aggression — クラスター（ダイヤ）マーカー

設定	動作
Cluster min volume / Side filter	クラスターの最小合計サイズ（50）と、どちらの側を表示するか。同じグループのクラスターマーカーのスイッチでダイヤを表示・非表示にでき、クイックパネルの Aggression clusters の行でも同じことができます。

Absorption — 水平の吸収バー

設定	動作
Absorption show on chart	吸収バーを表示または非表示にします。
Absorption min volume / Absorption max range (ticks)	ある価格で吸収された最小出来高（100）と、価格がどれだけ狭く保たれている必要があるか。
Absorption stack zone / Absorption stack min count	近くにある同じ側の吸収バーを Abs▲ ×N / Abs▼ ×N のゾーンにまとめるかと、それに必要なバーの数。
Symbol preset (apply on close)	市場ごとの開始しきい値：ES、NQ、GC、RTY / 6E、または CL の既定値を選び、OK か Apply をクリックすると、その時点で大口約定・クラスター・吸収の最小値が変わり、ドロップダウンは None に戻ります。これは出発点であって、検証済みの最適値ではありません。クイックメニューのプリセットは即座に適用されます。

Sounds — 音のアラート

設定	動作
Sound enabled / Sound volume (1-10)	大口約定の音（既定でオン）とその音量。
Buy sound (WAV/MP3) / Sell sound (WAV/MP3) / Sound cooldown (ms)	サウンドファイル（既定は Documents\OrderVane_Sounds\ 内）と、音と音のあいだの最短間隔（1500）。

Bar Stats — 足ごとのグリッド

設定	動作
Bar stats grid enabled (per-bar Vol/Delta/MaxD/Min D/V-s/Dur)	グリッドのマスタースイッチ。既定でオン。
Bar stats grid position / Bar stats row labels	上端（既定）か下端に固定するか、そして行の名前をチャートの左に置くか、価格軸のすぐ左（既定）に置くか。

設定	動作
Bar stats: show Volume row / Bar stats: show Delta row / Bar stats: show Delta% row	出来高、デルタ、出来高に対するデルタの割合。
Bar stats: show Cum Delta row (session)	NinjaTrader の取引日が始まってからの累積デルタ。
Bar stats: show Max Delta row / Bar stats: show Min Delta row	足の中で到達した最大・最小のデルタ。
Bar stats: show Vol/Sec row / Bar stats: show Duration row	1 秒あたり出来高と、足の長さ（既定はオフ。時間足では定数です）。
Bar stats: heat coloring (value-scaled cell background)	値がその行の表示中の足の平均を大きく上回るセルを着色します。
Bar stats: show Tape speed row / Bar stats: tape speed style	速度の行（オン）と、その描き方：メーター、数字と着色、または bipolar メーター（既定）。
Bar stats: tape meter metric	速度の行が測るもの：既定は 1 秒あたり出来高。ほかに約定件数、デルタ、買いまたは売りの件数や出来高（いずれも 1 秒あたり）、平均約定サイズ。
Bar stats: tape control line period / Bar stats: tape control type	速度の行に重ねる移動平均と、それが単純か指数か。2 本未満でオフ（既定）。
Bar stats: tape meter volume backdrop	各速度バーの隣に並べる 2 本目のバー（既定は出来高）。既定でオン。

Footprint (Advanced)

設定	動作
Tape hot alert	オフ（既定）、視覚的なフラッシュ、またはフラッシュと音。テープが hot になったときに発火します。

Range Profile — ドラッグして描画

各ボックスは、チップを一度変更すると自分の設定を保持します。それまではこの設定に従います。

設定	動作
Range profile on rectangles	レンジプロファイルのマスタースイッチ — 同じレイヤーで描かれるセッション水準のスイッチでもあります。既定でオン。
Range profile draw button (on-chart) / Range profile quick chips (click under box)	左の列の描画ボタンと、ボックスの下に出るチップ列。

設定	動作
Range profile left source (0=Off 1=Vol 2=Delta 3=Buy 4=Sell) / Range profile right source (0=Off 1=Vol 2=Delta 3=Buy 4=Sell)	各サイドに何を表示するか。既定では左がデルタ、右が出来高。
Range profile POC line / Range profile value area / Range profile value area % (50-100)	最も出来高の多い行、バリューエリア、そしてそれが覆う出来高の割合（既定 68）。
Range profile VWAP line	ボックスに沿って発展していく VWAP の線。既定でオン。
Range profile price step (ticks, 1=off) / Range profile width (% of box)	行のまとめ方と、バーがボックス内でどこまで伸びるか。直前セッションの自動ボックスで幅のハンドルをドラッグすると、この値が変わります。
Range profile common scale across boxes	すべてのボックスで 1 つのスケールを共有し、大きさを比較できるようにします。オフなら各ボックスが自分の幅を使い切ります。
Range profile LVN bands / Range profile LVN threshold %	プロファイル内の出来高の少ない行を着色するかと、行がどれだけ低ければ対象とするか。
Range profile: tape histogram	ボックス右端に沿った速度の帯。既定はオフ。
Range profile magnet (snap to bars)	ボックスを離れたとき、角を最も近い足に、そして 8 ティック以内ならその始値・高値・安値・終値にスナップします。既定はオフ。

Session Levels

Range profile on rectangles がオンの間だけ描かれます。

設定	動作
Session levels / Session levels: previous session profile	マスタースイッチと、自動ボックスとして描く直前セッションのプロファイル。どちらも既定でオン。
Session levels: sessions back	何セッション前まで描くか（1-10）。古いセッションほど淡く、タッチバンドは付きません。
Session levels: extend VAH/VAL/POC right / Session levels: touch band	ラベル付きで延長される線と、VAH・VAL を囲むバンド。
Session levels: absorption at touch	異例の労力に対して突き抜けが浅かったタッチを印します。観察であって、予測ではありません。
Session levels: value area (%) / Session levels: band ticks	セッションのバリューエリア（既定 70）と、バンドの幅（ティック、3）。

設定	動作
Session levels: session hours (blank = auto)	取引所時間でのセッションの時間帯（例：08:00-13:30）。空欄にすると、その銘柄の取引日を使います。Session Map ウィンドウの Session hours メニューも同じ値を変更します。

サポート

- Website: <https://ordervane.com>
- Email: hello@ordervane.com

免責事項

OrderVane は分析・可視化ツールです。投資助言ではなく、トレードシグナルを提供することではなく、注文を発注することはありません。先物、CFD、FX の取引には、当初預託金を上回る損失を被る可能性を含め、多大な損失リスクが伴います。すべてのトレード判断および結果について、お客様が単独で責任を負います。完全な条項については、<https://ordervane.com/eula> のエンドユーザー使用許諾契約をご覧ください。NinjaTrader はそれぞれの所有者の商標です。OrderVane は独立した製品であり、NinjaTrader と提携しておらず、NinjaTrader の承認を受けたものでもありません。